ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成 30（2018）年
7月7日発行
第１１号

夢のふくらむ学校

早いもので、補習校は平成３０年度の授業日を 14 回終え、夏休みに入ろうとしています。現地校が一足早く終わったので、体験入学等で一時帰国した子供も多く、人数の少ない少し寂しい教室での授業になっています。

さて、今年度も、補習校では教師の授業力・指導力の向上のため、延べ１２回の研修会を行ってきました。ほとんど毎週、放課後に会合を行っていることになります。LI 校・W 校それぞれの実態に合わせたカリキュラムの確認や指導法の共通理解をはじめ、管理職による新学習指導要領に関わる指導、教科の指導法や教材開発のアドバイス、生活指導、エピペンの処置の仕方など多岐にわたる内容で、補習校教師としての資質の向上に努めてまいりました。また、ほぼ毎回どこかの教室で巡回指導という管理職による授業観察を行っています。多い日には、３クラス実施することもあります。事前に指導案の提出を求め、教頭によるチェックのもとに修正を行った指導案で授業を行います。指導案には、板書計画等の資料も付いてきます。管理職は、１時間の授業を観察し、後日文書でよかった点や改善点などについて指導助言しました。その他、職員朝礼に際に配布する事務連絡書類には、必ず教頭から「子供が主役になる授業」などと題して、具体の指導について事例を挙げてわかりやすく解説するワンポイントアドバイスなども継続してまいりました。

補習校の教員は、週日は自分の仕事に従事している方がほとんどです。そのため、お子さん方と同じく金曜日の夜は、教材作成をはじめとする授業準備に追われることになります。一生懸命課題に取り組んでいる子供の姿を思い浮かべながら、発問と応答を予想して授業を組み立てることになります。子供達の授業への期待、学びたい・分かりたいという欲求に応えるため、眠気と戦っています。

もとより、保護者の皆様にはまだまだ至らぬ点も多く目に付くかもしれません。10 月には、２回目の授業参観・懇談会が予定されています。１回目の授業参観のアンケートでいただいたご意見やご要望を踏まえ、子供達の学びにつながるよりよい授業づくりに取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



１年生～「おおきなかぶ」での動作化の様子。みんなで力を合わせて引っ張ります。

終わりになりましたが、８月 18 日に元気な皆さんにお会いできることを、教職員一同心より楽しみにしています。よい夏休みをお迎えください。





6/30　W 校幼児部は七夕祭りを楽しみました。スイカ割りもありました。



LI 校幼児部の野菜スタンプによる造形遊び

４月以降、保護者会及び保護者の皆様には、お子さんの送迎、図書の貸し出しや当番活動などの常時活動から、運動会（LI 校）、ファンドレイジング（W 校）はじめ様々な活動に積極的に取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。しばらくの間、土曜日はゆっくりお休みください。後期もよろしくお願い申し上げます。